

## 1 取り組みの概要

中央小学校では、環境を大切にすることで、人と地球とのつながりを考えられる人になってほしいという願いを込めて活動に取り組んできた。学校目標である「よく考える子、よく働く子、なかよくできる子」を合言葉に、日々自分の身の回りに目を向け、自分たちにできることは何かを考え生活してきた。PTCA としての取り組みも盛んで、地域と保護者、学校が一丸となり資源回収なども行ってきた。

## 2 令和6年度の活動内容

### 【学校をきれいにする活動】

#### ○花壇の整備

環境福祉委員会の児童を中心に、花の苗を植えたり、花の種をまいたりした。地域の幼稚園やお店の方々からも、花の苗をいただき、校庭の花壇をにぎやかにすることができた。休み時間に水やりや花がらつみ、雑草の除草作業を行い、心を込めて育てていった。

#### ○除草作業、落ち葉掃き

朝活動の時間に、全校児童による校庭の環境美化を行った。運動会に向けて、校庭を整備し、草むしりや石拾いを行い、安全に行事を行うことができた。

校庭の正門付近に大きなイチョウの木があり、秋にはたくさんの銀杏の実をつけてくれる。朝早く登校した児童の中には、教員と共に率先して落ち葉はきをする姿が見られた。

#### ○清掃活動

毎日の掃除の時間の最後には、細かいところまで目を向け汚れているところはないか探す時間となっている。早く掃除が終わっても、細かく見ていくことで学校をきれいに保っている。

教員自ら玄関の整頓を行い、段差のない下駄箱にも砂が入らないように気を付けている。また、靴の入れ方にも注意して見ていくことで、児童もかかとをそろえて靴をきれいに入れようという気持ちが芽生えている。

### 【資源を大切に活動】

#### ○資源回収

PTCA（P…保護者、T…教員、C…地域）の協力の下、中央地区の資源回収を行っている。子どもたちは保護者と一緒に、空き缶つぶしや段ボール、古着などを一生懸命運んだ。年間5回行い、参加者には再生紙から作ったポケットティッシュを配った。回収した物をリサイクルし、新しい物に生まれ変わるということを小さいうちから知ること、大人になってからも、環境を大切にして生活できるようになるのではないかと考える。



職員室では、使用済みの紙をすぐに回収できるように、印刷室入口に古紙回収のスペースを作り、無理なく効率よく回収できるようになっている。



#### ○ペットボトルキャップ回収

玄関近くの階段付近にボックスを置き、一年中回収している。地域の方も協力してくれ、45ℓのビニール袋に10袋以上のペットボトルキャップを回収することができた。



#### ○牛乳パックごみ

コロナで牛乳パックをリサイクルしなくなって5年が経つ。

リサイクルできなくても、なるべくごみを減らせるように、牛乳パックを小さくたたむ方法を環境福祉委員会で作成し、学級で視聴してもらった。ごみのかさを減らすことで、ごみ回収にかかるビニール袋や輸送費を減らすことができる。



#### ○電気・水

中央小学校は高崎市でも珍しい床暖房のある学校である。夜のうちに蓄電された電気を使い床暖房をつけておくことで、昼間は暖房をつけずに過ごしている。

また、夏の間は便座の電気を消し、無駄な電気を使わないように心がけている。

### 3 取り組みの見直し及び今後の活動

環境方針や活動の手引きをもとに、環境福祉委員会を中心に様々な活動を行うことができた。また地域のご協力のおかげで、中央地区一丸となって活動を行うことができ、感謝の気持ちでいっぱいである。

今後も、日常生活の様々な場面で児童が環境について考える場を設け、環境についての意識を高めていきたい。

